

水槽内でのスジアラの産卵および産卵行動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 照屋, 和久, 升間, 主計, 本藤, 靖 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014389

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



水槽内でのスジアラの産卵および産卵行動

照屋和久・升間主計・本藤 靖

1985～1991 年にかけスジアラの親魚飼育を行い、1988 年に初めて自然産卵に成功した。産卵は、水温が 25℃ 前後から始まり、産卵期間中はほぼ毎日産卵が見られた。雌 1 尾当たりの採卵量は、271～1,400 万粒であった。産卵期における雄の行動については、日中から雄が雌に対して、擦り寄る行動がみられたが、そのときの雄の体色は赤味がかかった色から青白く変わり、また、尾鰭の上下端および背鰭、尻鰭の縁側が黒くなっているのが観察された。産卵は、産卵期間を通して 19 時から 23 時の間に始まり、約 1 時間続いて終了した。

栽培技研, 21(1), 15-20 (1992)